

課題を提示

解決策を提案

企業×学生の環境課題解決 マッチング会 開催

横浜市は、横浜市地球温暖化対策推進協議会と協定を締結し、2050年までの脱炭素化「Zero Carbon Yokohama」の実現に向けて取組を進めています。

このたび、横浜市地球温暖化対策推進協議会は、横浜市との協定に基づく事業として、若者が脱炭素社会の実現とSDGsの推進について考えるきっかけづくりをするとともに、企業の課題に若者の視点を取り入れるため「**企業×学生の環境課題解決マッチング会**」を開催します。

参加企業が提示した環境課題に対し、横浜市内大学生が事前に調査・研究をした上で具体的な解決策を提案し、審査員が実現可能性などを総合的に評価して、表彰を行います。

なお、当日は併せて横浜市内高校生も課題の解決策を提案します。

開催概要

■日時

12月16日（土）13:00～16:20（12:30～受付）

■開催場所

横浜国立大学 経済学部講義棟2号館 111教室

■観覧募集人数

50人（先着順）

■観覧申込

横浜市地球温暖化対策推進協議会まで、ご所属、お名前を明記の上、Eメールにてお申し込みください。

◆横浜市地球温暖化対策推進協議会

メール：yokohama@ontaikyo.org

電話：090-1206-6370（担当：佐藤）

※取材の際は、裏面のお問合せ先まで12月15日（金）15時までにご連絡ください。

■実施主体

横浜市地球温暖化対策推進協議会（当事業は横浜市との協定に基づく事業として実施します。）

参加学生	
フェリス女学院大学	横浜国立大学
神奈川県立横浜瀬谷高校	

参加企業（五十音順）	環境課題テーマの概要
ウエインズトヨタ神奈川株式会社	SDGs の観点から、自動車ディーラーならではのリソース最大活用を踏まえて、どのような取り組みができるか。
株式会社エクソル	設置済の太陽光発電所に対する適切な維持管理を促すためにはどのような方策が必要か。
株式会社大川印刷	2050 年カーボンニュートラルに向けて、勉強会やセミナー開催を進めてきたが、今後、違う方法にて進めるには、どんな方法があるか。
株式会社よこはまグリーンピース TSUBAKI 食堂	地産地消をいかに若い消費者の方にも身近に感じていただき、日常生活の中で意識をしていただけるか。
協同組合横浜市設備設計	再生可能エネルギーによる戸建て住宅の使用電力、給湯を個別の地産地消で行い、CO2ゼロのクリーンなエネルギーで温暖化対策に貢献していくためには、どうすればよいか。

審査員

- ・ 横浜市地球温暖化対策推進協議会会長 松本 真哉
- ・ 横浜市地球温暖化対策推進協議会副会長 岩淵 勲
- ・ 株式会社神奈川新聞社クロスメディア営業局
コンテンツプロデュース部編集委員 波多野 寿生
- ・ 横浜信用金庫 理事営業統括部長 野田 淳嗣
- ・ 横浜市温暖化対策統括本部調整課担当課長 東田 建治



前回の「企業×学生の環境課題解決マッチング会」の様子

横浜市地球温暖化対策推進協議会について



横浜市地球温暖化対策推進協議会

横浜市地球温暖化対策推進協議会は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」第 40 条で定められている地域温暖化対策の推進を図るための活動を行う「地球温暖化対策地域協議会」です。平成 18 年の設立以降、10 年以上にわたる活動を行い、平成 30 年 12 月には『地球温暖化防止活動環境大臣表彰』を受賞しました。

現在は、約 100 の会員（横浜市、市内事業者、NPO、地域団体、個人等）が推進協議会に参加し、横浜市が目指す Zero Carbon Yokohama の実現に向けた活動を推進しています。

【協議会 HP】<https://www3.hp-ez.com/hp/npo2017>

お問合せ先
温暖化対策統括本部調整課担当課長 東田 建治 Tel 045-671-2336